

賃金構造基本統計調査
令和5年以前の達成精度の計算方法

イ 達成精度

賃金額（一般労働者は所定内給与額、短時間労働者は1時間当たり所定内給与額、臨時労働者は1時間当たりきまつて支給する現金給与額）については、副標本方式により算出している。

$$C_{\bar{x}} = \frac{1}{\sqrt{\kappa}} \sqrt{\frac{1}{\kappa - 1} \sum_{i=1}^{\kappa} (\bar{x}_i - \bar{x})^2} \cdot \frac{1}{\bar{x}} \times 100$$

$C_{\bar{x}}$: 標本誤差率 (%)

\bar{x}_i : i 番目の副標本内の平均賃金額

\bar{x} : 平均賃金額

κ : 副標本の数 (= 5)

なお、標準誤差率の結果は e-Stat に掲載のとおりである。